

新型コロナウイルス感染症についてのお知らせです。

三重県は、まん延防止等重点措置が解除されて以降 3 月 21 日までを再拡大阻止重点期間と位置付けていましたが、改めてこの期間を 4 月 3 日まで延長しました。

3 月 21 日に県内で新たに確認された感染者は 222 人であり、1 日に 1,000 人を超える感染者が報告された時期に比べると減少しています。同様に、周辺府県でも 1,000 人を超える報告は減ってきました。ただし、都市圏では、大阪府 1,638 人、愛知県 1,082 人、東京都 3,855 人と未だ予断を許さない状況です。また、新年度を迎えるにあたり移動や人と会う機会が多くなりますので、この期間延長は「気を緩めないように」という注意喚起でもあります。

市内では、1 カ月に確認された感染者数が、1 月は 504 人、2 月は 1,190 人、3 月は 21 日時点で 568 人となっています。令和 2 年 4 月からこれまでに市内で確認された 2,970 例のうち、実に 8 割に迫る例が今年に入ってからの 3 カ月に集中していることを考えると、やはりここで気を緩めることはできないと感じています。しっかりと、みんな注意していかなくてはなりません。

県が取りまとめた年齢別患者発生状況・感染経路別患者発生状況から、最近の傾向をお知らせします。1 月中旬以降の年齢別発生状況では、20 才未満の感染者がおよそ 3 分の 1 を占める状況で推移し、直近の週では 36%と、他の世代と比べて最も割合が高くなっています。一方、60 歳以上の高齢者の割合は減少傾向にあります。

感染経路別では、2 月中旬以降、家庭内感染の割合が 60%以上という状況が続いています。ただし、飲食店由来の感染割合は直近で 0.3%まで下がり、皆さんに感染防止対策をとっていただいた結果であると考えられます。

県からは、再拡大阻止重点期間中の県民の皆さんへの注意喚起として、次のように呼びかけています。

- ・ 県境を越える移動は、移動先の感染状況などに留意し慎重に検討を
- ・ 同一グループの同一テーブルでの会食はできるだけ 4 人以下で
- ・ 体調に少しでも異変があれば、外出を控え、早期に受診を
- ・ 基本的な感染防止対策の徹底を ～マスクの正しい着用、手洗い、換気など～

少し状況が改善してきたと感じられる今だからこそ、こういった基本的なことを気を緩めることなくしっかりと守っていただきたいと思います。

次に、ワクチン接種についてお伝えします。

新型コロナワクチンの追加（3 回目）接種の対象者は、伊賀市に住民票がある 2 回目のワクチン接種完了者のうち、3 回目接種日時点で 18 歳以上の人です。2 回目を接種してから 6 カ月以上経過した人へ、毎週接種券を発送しています。接種券が入った水色

の封筒がお手元に届きますので、同封のチラシに記載の医療機関に接種の予約をしてください。使用するワクチンは、ファイザー社製または武田/モデルナ社製となります。

1回目、2回目のワクチン接種を受けていないという場合で接種を希望する人は、新型コロナウイルスワクチン専用コールセンターへお問い合わせください。接種が可能な医療機関などをご案内いたします。

【伊賀市新型コロナウイルスワクチン専用コールセンター】

フリーダイヤル：0120-849-064

受付：午前8時30分～午後5時（月～土）

ワクチンに関するさまざまなご心配については、三重県の相談窓口にお寄せください。

【新型コロナウイルスワクチン副反応相談窓口（副反応の質問や相談）】

電話：059-224-3326（24時間受付・土日祝も対応）

※対応言語：日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語

【新型コロナウイルスワクチン接種ホットライン（副反応以外のワクチン接種全般）】

電話：059-224-2825（午前9時～午後9時・土日祝も対応）

十分注意していても、新型コロナウイルス感染症にかかったかもしれない、発熱や咳など心配な症状が出たということもあるかもしれません。そういうときには、まずかかりつけ医など身近な医療機関に電話で相談してください。かかりつけ医がない場合、または夜間や休診日などには、受診・相談センターに相談をしていただき、案内された医療機関で受診いただくようお願いします。

【受診・相談センター（土日祝も対応）】

・午前9時～午後9時：伊賀保健所 電話 0595-24-8050

・午後9時～午前9時：三重県救急医療情報センター 電話 059-229-1199

感染しないため、また感染を広げないために、感染リスクが高まる次の5つの場面に引き続きご注意ください。

【場面1 飲酒を伴う懇親会等】

大声、回し飲み、箸の共用により感染リスクが高まります。

【場面2 大人数や長時間に及ぶ飲食】

大人数・長時間での飲食は、飛沫の感染リスクが高まります。

「マスク会食」「黙食」を実践してください。

【場面3 マスクなしでの会話】

飛沫感染リスクが高まります。車中でも気をつけてください。

【場面4 狭い空間での共同生活】

長時間、閉鎖空間が共有されることで感染リスクが高まります。

【場面5 居場所の切り替わり】

休憩室や喫煙ルームに行くなど、気の緩みや環境の変化が感染リスクになります。

繰り返しになりますが、県の再拡大阻止重点期間が4月3日まで延長されました。こうした状況の中、一人ひとりが生活する上で十分に気をつけて、基本的な感染防止対策を徹底することが大切です。

少しでも早くコロナを克服できるよう、みんなでもうしばらく頑張りましょう。

2022（令和4）年3月22日

伊賀市長 岡本 栄